

新人看護師の教育に携わる教育担当者に関する研究の動向 ～2012年から2020年までに発表された研究を対象として～

辰島美佐江
(Misae TATSUSHIMA)

【要約】

《目的》2012年から2020年までに発表された新人看護師の教育に携わる教育担当者に関する研究の動向を解明し、教育担当者が新人看護師の教育に効果的に携わるために必要な研究上の課題を考察する。

《方法》看護教育学における先行研究分析の手法を適用した。医中誌 Web を用い、2012年から2020年までに発表された新人看護師の教育に携わる教育担当者に関する研究31件を分析対象とした。分析フォームに基づきデータ化した「研究の種類」「データ提供者」は百分率の算出、「研究内容」は Berelson, B. の内容分析の手法を用いて分析した。

《結果》分析対象の71.0%の「研究の種類」が質的研究であった。新人看護師の教育に携わる教育担当者に関する「研究内容」を表す9カテゴリが形成された。Scott, W. A. の式により算出したカテゴリ分類への一致率は、70%以上であった。

《結論》教育担当者が効果的に新人看護師の教育に携わるための今後の研究上の課題として、4点の示唆を得た。

キーワード：新人看護師の教育に携わる教育担当者、新人看護師、実地指導者

I. 緒言

高度化する医療現場において求められる看護実践能力と看護基礎教育において修得する看護実践能力の乖離が問題視されている。その乖離が、新人看護師の離職の一因となっている。このような新人看護師の現状を改善するために、2010年から「新人看護職員研修」が努力義務化され、10年以上経過している。この間、2020年3月に新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のパンデミックが宣言された。依然として感染の終息を確認できず、多くの実習施設が、急増する感染患者への対応や感染予防の観点に基づき、臨地実習の受け入れを中止せざるを得ない事態を引き起こしている。これらは、看護学生の多くが、看護実践能力を修得する最大の学習機会である臨地実習を経験できないまま、新人看護師として就業している現状を示す。この現状は、新人看護師の看護実践能力と医療現場が求める看護実践能力の隔たりをさらに広げる

要因となっている。また、このような背景の新人看護師の教育に携わる看護職者の多くも、その役割遂行に難渋している可能性が高い。新人看護師の教育に携わる看護職者の役割の中に「教育担当者」がある。教育担当者とは、「看護部門の新人看護師の教育方針に基づき、各部署で実施される研修の企画、運営を中心に行う者であり、実地指導者への助言及び指導、新人看護師への指導、評価を行う者¹⁾」である。新人看護師の教育に携わる教育担当者に関する先行研究の多く^{2), 3), 4)}は、教育担当者が、自己の役割を模索しながら遂行しつつ、多様な困難に遭遇していることを明らかにしていた。新人看護師の教育に携わる教育担当者は、施設の規模によって、研修責任者が兼務したり、実地指導者と同一であったりするなど、施設によって異なっている¹⁾。これらは、教育担当者の役割を担っている看護職者が、その役割を明確化しにくく、役割遂行上の多様な困難に遭遇している現状を示す。このような現状を解決する糸口をつかむためには、教育担

当者が、遭遇した困難の克服に役立つ知識を産出するための研究成果の蓄積が必要である。

新人看護師の教育に携わる教育担当者に関する文献を検索した結果、教育担当者と実地指導者に関する文献研究1件⁵⁾の存在を確認した。この研究は、2005年から2015年までに発表された原著論文のみに焦点を当てていた。また、教育担当者に加え、実地指導者に該当する役割も含めた文献を対象としていた。これらは、新人看護師の教育に携わる教育担当者に関する研究に焦点を当て、その動向や必要な研究課題を検討した文献研究が2015年以降に存在しないことを示す。また、2012年以降に学会発表された会議録を含む文献研究も存在しないことを示す。

このような背景を持つ本研究は、2012年から2020年までに発表された新人看護師の教育に携わる教育担当者に関する研究の動向の解明を目ざす。本研究の成果は、教育担当者が新人看護師の教育に効果的に携わるために必要な研究課題を明確化することに貢献する。

II. 研究目的

2012年から2020年までに発表された新人看護師の教育に携わる教育担当者に関する研究の動向を解明する。その結果の考察を通し、教育担当者が新人看護師の教育に効果的に携わるために必要な研究上の課題を検討する。

III. 用語の定義

1. 教育担当者

厚生労働省「新人看護職員研修ガイドライン」の教育担当者の定義¹⁾を前提とし、本研究は、教育担当者を次のように定義する。教育担当者とは、各部署で実施される新人看護師の教育の企画及び運営を中心となっていくとともに、実地指導者への助言及び指導、新人看護師への指導及び評価を行う者である。

2. 新人看護師

看護師免許取得後、医療機関等に初めて就労して1年未満の看護職者である^{6),7)}。

IV. 研究方法

1. 先行研究の分析手法

本研究は、先行研究を系統的な研究手法を用いて分析することを目的とし、「看護教育学における先行研

究分析⁸⁾」の手法を適用した。

2. 分析対象とする研究の検索

2012年から2020年12月末日までに発表された論文や会議録を対象とした。医中誌 Web を用い、キーワードを「教育担当者 and 新人看護師」or「教育担当者 and (実地指導者 or プリセプター)」に設定し、文献52件を検索した。検索された52件の抄録及び論文を精読し、実践報告や解説などの研究論文以外の21件を除外し、新人看護師の教育に携わる教育担当者に関する研究31件を分析対象とした。

3. 分析方法

1) データ化

先行研究分析のための分析フォーム⁹⁾を参考に「研究の種類」「データ提供者」「研究内容」により構成された分析フォームを作成した。分析フォームに沿って、分析対象とした研究の概要を記載し、データ化した。

2) 量的データの分析

「研究の種類」、「データ提供者」は、単純集計し、百分率を算出した。

3) 質的データの分析

①「研究内容」は、研究目的・方法・結果に関する情報の短縮表示として記述した「研究内容コード」を作成した。なお、1つの研究結果に2つ以上の研究内容が含まれている場合は、2つ以上の「研究内容コード」を作成した。

② Berelson, B. の内容分析の手法¹⁰⁾を用い、「研究内容コード」の意味内容の類似性に基づき分類し、その分類を忠実に反映したカテゴリ名を命名した。

4. カテゴリの信頼性の確保

分析対象31件の中から無作為に研究論文12件を抽出した。次に、先行研究分析の経験を持つ看護学研究者2名に、抽出した研究論文の精読、カテゴリへの分類を依頼した。さらに、Scott, W. A. の式¹¹⁾に基づき、カテゴリへの分類の一致率を算出した。信頼性確保の基準は、一致率70%以上とした。

V. 結果

1. 研究の詳細

研究の種類は、質的研究が22件 (71.0%)、量的研

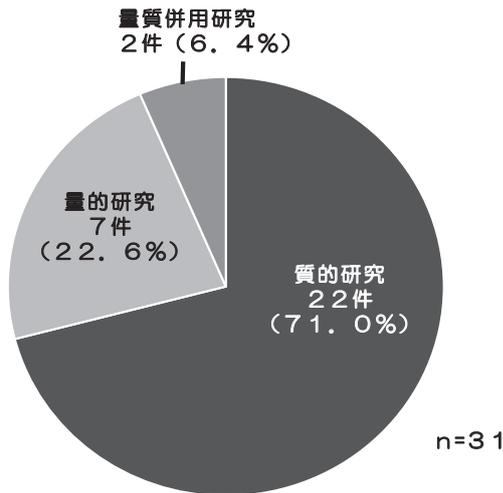


図1 研究の種類

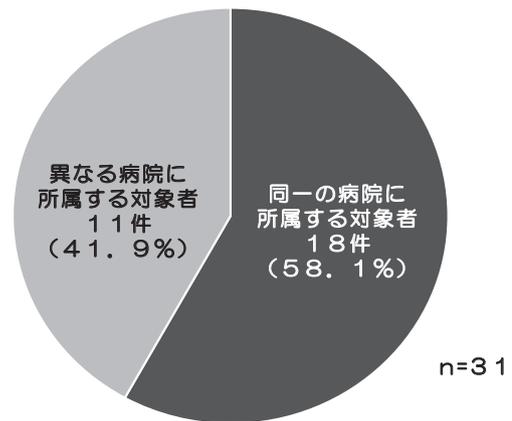


図2 データ提供者

究が7件（22.6%）、質量併用研究が2件（6.4%）であった（図1）。

2. データ提供者の詳細

データ提供者は、同一の病院に所属する対象者が18件（58.1%）、異なる病院に所属する対象者が13件（41.9%）であった（図2）。

3. 研究内容を表すカテゴリ

分析対象の研究31件から得られた研究内容コード数は37コードであった。これらのコードを意味内容の類似性に基づき分類した結果、9カテゴリが形成された（表1）。

次に、これら9カテゴリに沿って結果を論述する。

【1. 新人看護師の教育に携わる教育担当者が直面する困難】（7コード：19%）

このカテゴリは、新人看護師の教育に携わる教育担当者に対する支援のあり方を検討するために、教育担当者が役割を果たす際に直面する困難を解明した研究から形成された。このカテゴリは、7研究内容コードから形成された。これらのコードを導いた研究は、2012年から2020年にわたって途切れることなく発表されていた。

【2. 新人看護師に対する教育担当者による教育的支援】（7コード：19%）

このカテゴリは、教育担当者が新人看護師を効果的に支援するために、新人看護師に対する教育担当者による教育的支援を解明した研究から形成された。このカテゴリは、7研究内容コードから形成された。

【3. 新人看護師の教育に携わる教育担当者の役割遂行に対する評価と関係する要因】（6コード：16%）

このカテゴリは、新人看護師の教育に携わる教育担当者が役割を効果的に遂行するために、教育担当者の役割遂行に対する評価とそれに関係する要因を解明した研究から形成された。このカテゴリは、6研究内容コードから形成された。また、カテゴリ【3】を形成した研究の多くは、有識者により作成された「新人看護師職員研修ガイドライン」の教育担当者に求められる能力¹²⁾を参考に作成した測定用具を用いてデータを収集していた。また、後述するカテゴリ【5】を形成した研究成果である管理者が求める教育担当者に必要な能力や資質^{13), 14)}を参考に作成した測定用具を用いてデータ収集していた研究も存在した。

【4. 新人看護師の教育に携わる教育担当者の主観的及び客観的な実践】（4コード：11%）

このカテゴリは、新人看護師の教育に必要な教育担当者の実践を検討するために、実際に役割を担っている教育担当者の知覚を通して得た主観的な実践^{15), 16)}と参加観察を通して得た客観的な実践^{17), 18)}を質的に解明した研究から形成された。このカテゴリは、4研究内容コードから形成された。

【5. 管理者が知覚する新人看護師の教育に携わる教育担当者に必要な能力と資質】（3コード：8%）

このカテゴリは、新人看護師の教育に携わる教育担当者の準備教育に必要な内容を検討するために、看護師長などの管理者の知覚を通して、教育担当者に必要な能力と資質を解明した研究から形成された。このカテゴリは、3研究内容コードから形成された。

表1 新人看護師の教育に携わる教育担当者に関する研究内容コードとカテゴリ

研究内容コード	カテゴリ
新人看護師研修の企画・運営・評価する上での教育担当者の悩み	1 【新人看護師の教育に携わる教育担当者が直面する困難】 (7コード)
教育担当者が役割遂行上に直面する困難	
教育担当者が知覚する役割遂行上の困難	
教育担当者が新人看護師教育に携わる上で直面する問題	
教育担当者が新人看護師研修へのスタッフの巻き込みに対して知覚する困難	
教育担当者としての役割遂行上の自己の課題	
中小規模病院の教育担当者と実地指導者の院内研修後の振り返り記録内容からみた新人看護師教育に関する課題	
新人看護師の看護実践能力の発展を促す教育担当者による支援	2 【新人看護師に対する教育担当者による教育的支援】 (7コード)
新人看護師のOJT(点滴静脈内注射技術指導)における教育担当者の教育的支援	
職場内教育(OJT)における教育担当者の集合教育(Off-JT)の新人看護師のリフレクションシート活用の現状	
新人看護師への仕事の割り当て(受け持ち患者の割り当て)に対する教育担当者の判断過程	
新人看護師の社会人基礎力に対する教育担当者の知覚(思い・考え)	
教育担当者の評価結果からみた新人看護師の社会人基礎力の実態	
中小規模病院の教育担当者が役割を遂行する中での新人看護師に対する肯定的・否定的認識	
新人看護師教育に携わる教育担当者能力の自己評価票の開発	3 【新人看護師の教育に携わる教育担当者の役割遂行に対する評価と関係する要因】 (6コード)
教育担当者の新人看護師教育支援上果たすべき役割遂行の現状	
新人看護師教育における教育担当者の役割遂行に対する自己評価の現状	
教育担当者と実地指導者の新人看護師が受講しているOff-JT(集合研修)の研修資料に対する認知度と活用度の比較	
教育担当者の新人看護師教育に必要な基礎知識の認知の程度と活用との関係	
教育担当者の新人看護師教育に適した職場風土づくりの役割遂行と個人特性の関係	
参加観察を通して得た新人看護師指導役割を遂行している教育担当者の行動(2012年12月～6月)	4 【新人看護師の教育に携わる教育担当者の主観的及び客観的な実践】 (4コード)
参加観察を通して得た教育担当者が実地指導者に対して実施している行動(2012年12月～3月)	
教育担当者が認識している新人看護師を教育する上での役割	
教育担当者による新人看護師を対象とした教育の企画・運営に関する実践	
教育担当者の経験を通して知覚する役割を果たすために必要な力(知識・技術・態度)	5 【管理者が知覚する新人看護師の教育に携わる教育担当者に必要な能力と資質】 (3コード)
教育担当者・管理者が知覚する教育担当者の役割遂行に必要な力(役割遂行に必要な知識・技術・態度)	
看護管理者が知覚する新人看護師の教育担当者が必要とされる能力・資質	
教育担当者が役割を果たす上で要望する支援	6 【新人看護師の教育に携わる教育担当者が要望する支援】 (3コード)
教育担当者が役割を遂行する上で要望する支援	
教育担当者が役割を果たす上で役立つと知覚した支援	
看護管理者が知覚する新人看護師の教育担当者が必要とされる能力・資質を基盤とする教育担当者育成モデルプログラムの開発	7 【新人看護師の教育に携わる教育担当者の育成を目的とした教育プログラムの開発と評価】 (3コード)
教育担当者の能力・資質に対する自己評価と管理者による他者評価の比較からみた教育担当者育成プログラムの評価	
中小規模病院の教育担当者と実地指導者の院内研修後の振り返り記録内容からみた新人看護師教育に関する成長	
教育担当者が経験を通して役割を学習する過程	8 【教育担当者が新人看護師を教育する役割遂行を通して得た学び】 (3コード)
教育担当者の経験を通して知覚する能力の変化につながる要因	
教育担当者が役割遂行する上での思考を理解・調整するメタ認知の過程	
初めて役割を担う実地指導者が教育担当者に求める支援	9 【新人看護師を指導する実地指導者が要望する教育担当者による支援】 (1コード)

【6. 新人看護師の教育に携わる教育担当者が要望する支援】(3コード: 8%)

このカテゴリは、新人看護師の教育に携わる教育担当者に対する支援のあり方を検討するために、教育担当者が要望する支援を解明した研究から形成された。このカテゴリは、3研究内容コードから形成された。

【7. 新人看護師の教育に携わる教育担当者の育成を目的とした教育プログラムの開発と評価】(3コード: 8%)

このカテゴリは、新人看護師の教育に携わる教育担当者の育成に必要な教育プログラムを検討するために、教育担当者の育成を目的とした教育プログラムの

開発と評価を解明した研究から形成された。このカテゴリは、3研究内容コードから形成された。

【8. 教育担当者が新人看護師を教育する役割遂行を通して得た学び】(3コード: 8%)

このカテゴリは、新人看護師を教育する役割遂行が教育担当者にもたらす学びを確認するために、教育担当者が新人看護師を教育する役割遂行を通して得た学びを解明した研究から形成された。このカテゴリは、3研究内容コードから形成された。

【9. 新人看護師を指導する実地指導者が要望する教育担当者による支援】(1コード: 3%)

このカテゴリは、教育担当者が効果的に実地指導者を支援するために、新人看護師指導の役割を担う実地指導者が要望する教育担当者による支援を解明した研究から形成された。このカテゴリは、1研究内容コードから形成された。

4. カテゴリの信頼性

Scott, W. A. の式に基づき、カテゴリ分類への一致率を算出した結果、80.7%、71.0%であった。これは、本研究の結果である9カテゴリが信頼性を確保していることを示した。

VI. 考察

1. 研究の種類・データ提供者からみた新人看護師の教育に携わる教育担当者に関する研究の動向と研究上の課題

本研究の分析対象となる研究を検索した結果、31件の存在を確認できた。分析対象31件の研究の種類は、質的研究が22件(71.0%)、量的研究が7件(22.6%)、質量併用研究が2件(6.4%)であった。質的研究が約7割を占めていた。質的研究とは、未着手の領域や問題に関する研究を行う場合、その第一の研究レベルである因子探索研究¹⁹⁾として必要である。これらは、新人看護師の教育に携わる教育担当者に関する先行研究が、変数または因子を解明する因子探索研究の成果を累積しつつあることを示す。また、量的研究が約2割であった。量的研究とは、変数または因子の関係を説明したり、予測したりすることを目的²⁰⁾とし、関係探索研究²¹⁾、関連検証研究²²⁾として必要である。これらは、新人看護師の教育に携わる教育担当者に関する変数または因子の関係を説明したり、予測したりする関係探索研究、関連検証研究を累積する必要性を示

す。

次に、データ提供者は、同一の病院に所属する対象者が18件(58.1%)、異なる病院に所属する対象者が13件(41.9%)であった。同一の病院に所属する対象者が約6割弱を占めていた。量的研究の理想的な標本としては、標本が対象母集団を代表する者であることが望ましい²³⁾。量的研究を評価する基準として、研究結果を得た対象者以外の集団にどの程度適用できるのかという一般化可能性がある²⁴⁾。研究成果の一般化可能性を高めるためには、多様な特性をもつ対象からデータを収集する必要がある。これらは、前述した課題である関係探索研究や関連検証研究を累積する際、多様な特性をもつ対象からデータを収集する必要性を示す。

以上は、教育担当者が効果的に新人看護師の教育に携わるために、教育担当者に関する変数または因子の関係を説明したり、予測したりする関係探索研究や関連検証研究を累積することが、今後の研究上の課題であることを示唆する。また、それらの研究を累積する際、多様な特性をもつ対象からデータを収集することも今後の研究上の課題であることを示唆する。

2. 研究内容からみた新人看護師の教育に携わる教育担当者に関する研究の動向と研究上の課題

新人看護師の教育に携わる教育担当者に関する研究内容を分析した結果、次の9カテゴリが形成された。9カテゴリとは、【1. 新人看護師の教育に携わる教育担当者が直面する困難】、【2. 新人看護師に対する教育担当者による教育的支援】、【3. 新人看護師の教育に携わる教育担当者の役割遂行に対する評価と関係する要因】、【4. 新人看護師の教育に携わる教育担当者の主観的及び客観的な実践】、【5. 管理者が知覚する新人看護師の教育に携わる教育担当者に必要な能力と資質】、【6. 新人看護師の教育に携わる教育担当者が要望する支援】、【7. 新人看護師の教育に携わる教育担当者の育成を目的とした教育プログラムの開発と評価】、【8. 教育担当者が新人看護師を教育する役割遂行を通して得た学び】、【9. 新人看護師を指導する実地指導者が要望する教育担当者による支援】である。

9カテゴリのうち、最初に着目したカテゴリは、【3】【4】【5】である。これらのカテゴリを形成した研究は、新人看護師を教育する教育担当者の役割遂

行に焦点を当てていた。このうち【3】は、教育担当者の役割遂行状況の評価とともに役割遂行に関係する因子を解明した研究から形成された。【5】は、看護師長などの管理者が求める教育担当者に必要な能力や資質を解明した研究から形成された。これらの研究成果は、有識者や管理者が求める理想とする教育担当者に必要な能力と実際に役割を担っている教育担当者の能力の乖離を解明することを可能とする。しかし、教育担当者が実行可能な役割を解明するためには、実際に役割を遂行している教育担当者の実践に基づき、教育担当者の役割を帰納的に解明する研究の累積が必要である。また、【4】は、教育担当者が新人看護師を教育する役割を遂行するために展開している実践を質的に解明した研究から形成された。これは、教育担当者の実践が、主観的または客観的な視点から解明されつつあることを示す。教育担当者の役割は、各部署で実施される新人看護師の教育の企画及び運営を中心となったり、実地指導者に対して助言や指導を行ったり、新人看護師に対して指導や評価を行ったりする¹⁾など多岐にわたっている。これは、教育担当者が、実地指導者や新人看護師など多様な人々と関わったり、新人看護師の教育を企画及び運営したりしており、臨床現場のみならず臨床現場以外でも実践している可能性を示す。このような教育担当者の役割を包括的に理解するためには、参加観察を通して解明した臨床現場における教育担当者の行動とインタビュー等を通して解明した臨床現場以外での実践に対する教育担当者の知覚を包含し、教育担当者の役割を明らかにする必要があることを示す。また、2020年以降から流行している新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響を受け、臨床実習の経験が減少している新人看護師が指導対象となり、新人看護師の教育に携わる教育担当者の役割のあり方に変化が生じている可能性が高い。

以上は、教育担当者が効果的に新人看護師の教育に携わるために、参加観察を通じた教育担当者的客観的な行動と教育担当者が知覚している実践を包含し、教育担当者の役割を包括的に解明する研究成果の産出が、今後の研究上の課題であることを示唆する。

次に着目したカテゴリは、【1】【6】【8】である。これらのカテゴリを形成した研究は、教育担当者の役割を経験することにより生じる影響に焦点を当てていた。このうち【8】は、教育担当者の役割を経験して

得られた学びという肯定的な影響を解明した研究から形成された。一方、【1】は、教育担当者の役割を担った看護職者が直面する困難という否定的な影響を解明した研究から形成された。また、【6】は、教育担当者が、その役割を遂行する上で要望する支援を解明した研究から形成された。【1】と【6】を形成した研究は、全体の約3割を占めており、2012年から2020年にわたって途切れることなく発表されていた。これらは、教育担当者が、その役割を経験することにより学びという肯定的な影響を受けていることを示す一方、困難という否定的な影響を受け、困難を克服できず、支援を求めていることを示す。また、教育担当者の困難を解明した研究が途切れることなく産出されている事実は、教育担当者の困難克服に資する知識の産出の必要性を示す。これらに関連して着目したカテゴリは、【7】である。このカテゴリは、教育担当者の育成を目的とした教育プログラムの開発と評価を解明した研究から形成された。これは、教育担当者を育成する教育プログラム¹⁴⁾が、研究的に開発されていることを示す。また、日本看護協会は、有識者から構成された教育委員が中心となり、新人看護職員臨床研修に携わる教育担当者を育成するための研修ガイド²⁵⁾を作成していた。しかし、前述した通り、教育担当者が直面する困難を解明している研究が、継続的に産出されており、教育担当者の多くが、その役割遂行に難渋している。これらは、役割を遂行する際に直面する困難を克服できる教育担当者を育成する教育プログラムを開発する必要性を示す。

以上は、教育担当者が効果的に新人看護師の教育に携わるために、教育担当者を育成する教育プログラムの開発に向け、教育担当者が役割を遂行する際に直面する困難の克服に資する研究成果の産出が、今後の研究上の課題であることを示唆する。

残る【2】【9】は、教育担当者が新人看護師や実地指導者などの指導や助言する対象との相互行為に焦点を当てていた。【2】は、新人看護師に対する教育担当者による教育的支援を解明した研究から形成され、7研究内容コードから形成された。一方、【9】は、実地指導者が要望する教育担当者による支援を解明した研究から形成され、1研究内容コードから形成された。これらは、教育担当者が、直接的に支援する実地指導者よりも新人看護師に対する教育的支援に注力していることを示す。教育担当者の配置は、各部署

に1名以上とすることが望ましい¹⁾。しかし、医療施設の規模等によって、教育担当者と実地指導者が同一の場合もあり得る⁷⁾。これらは、教育担当者の役割を担っている看護職者が、実地指導者の役割を兼務している場合もあり、教育担当者としてではなく、実地指導者として新人看護師を支援する機会が多い可能性があることを示す。教育担当者は、新人看護師への指導及び評価も行う役割を担っているが、実地指導者への助言および指導も重要な役割である。プリセプターなどの実地指導者の多くは、その役割を遂行する際、多様な問題に直面している^{26), 27)}。それを契機にバーンアウトなどを経験し、職業を継続できなくなる者も存在する²⁸⁾。これらは、実地指導者に対する教育担当者による効果的な支援が必要であり、それに関する研究成果が産出されていないことを示す。

以上は、教育担当者が効果的に新人看護師の教育に携わるために、実地指導者に対する教育担当者による効果的な支援を解明する研究成果の産出が、今後の研究上の課題であることを示唆する。

Ⅶ. 結論

1. 新人看護師の教育に携わる教育担当者に関する研究の動向を「研究の種類」と「データ提供者」の視点から分析した結果、今後の研究上の課題として、次の1点の示唆を得た。教育担当者が効果的に新人看護師の教育に携わるためには、教育担当者に関する変数または因子の関係を説明したり、予測したりする関係探索研究、関連検証研究を累積する。また、それらの研究を累積する際、多様な特性をもつ対象からデータを収集する。

2. 新人看護師の教育に携わる教育担当者に関する研究内容を分析した結果、9カテゴリが形成された。

3. 9カテゴリの考察を通して、新人看護師の教育に教育担当者が効果的に携わるために必要な今後の研究上の課題として、次の3点の示唆を得た。

- 1) 参加観察を通じた教育担当者の客観的な行動と教育担当者が知覚している実践を含めて教育担当者の役割を包括的に解明する。
- 2) 教育担当者を育成する教育プログラムの開発に向け、教育担当者が役割を遂行する際に直面する困難の克服に資する研究成果を産出する。
- 3) 実地指導者に対する教育担当者による効果的な支援を解明する。

本研究は、JSPS 科研費 JP18K10210の助成を受けて実施した。

利益相反の開示

本研究における利益相反は存在しない。

【文献】

- 1) 厚生労働省：新人看護職員研修ガイドライン【改訂版】，5（2014）
- 2) 竹内久美子：新人看護師研修に関する病院専任教育担当者の悩み，和洋女子大学紀要，61，147-152（2020）
- 3) 島田伊津子：新人看護職員研修における教育担当者が持つ役割遂行上の困難の構造，第37回日本看護科学学会講演集，466（2017）
- 4) 新井亜弥子，松山友子，加藤章子：新人看護師教育に携わる教育担当者が直面する活動上の問題，日本看護研究学会雑誌，38（3），142（2015）
- 5) 馬場さゆり，窪田好恵，伊丹君和：新人看護職員研修をサポートするプリセプター支援者または教育担当者に関する研究の文献検討，人間看護学研究，14，17-22（2016）
- 6) 前掲書1）4.
- 7) 日本看護協会：新人看護職員臨床研修における研修責任者・教育担当者育成のための研修ガイド，6（2009）
- 8) 舟島なをみ：看護教育学研究 発見・創造・証明の過程 第3版 実践・教育の質向上を目指す研究の方法論，279-332，医学書院（2018）
- 9) 前掲書8）290.
- 10) Berelson, B.; 稲葉三千男他訳：内容分析，みすず書房（1957）
- 11) Scott, W. A.: Reliability of Content Analysis: The Case of Nominal Scale Coding, Public Opinion Quarterly, 19（3），321-325（1955）
- 12) 前掲書1）22.
- 13) 佐藤まゆみ，大室律子，荒屋敷亮子他：プリセプター支援者に求められる能力・資質に関する研究，千葉大学看護学部紀要，31，1-5（2009）
- 14) 和住淑子，黒田久美子，佐藤まゆみ他：新人看護師教育担当者育成モデルプログラムの開発と試行，千葉大学大学院看護学研究科紀要，34，45-50（2012）
- 15) 丸山妙子，黒岩直美：教育担当者の役割認識と支援，日赤医学，280（2013）
- 16) 天田寿江，松田安弘，山下暢子他：看護単位の教育担当者による新人看護師を対象とした教育の機会・運営一企画・運営に関する実践の全体構造の解明に向けて一，群馬県立県民健康科学大学紀要，14，1-18（2019）
- 17) 笹田友恵，岡田純子：新人看護職員臨床研修における教育担当者が実地指導者に対して行っている支援の内容，日本看護科学学会第33回学術集会講演集，652（2013）
- 18) 岡田純子，笹田友恵：新人看護職員臨床研修を担う教育担当者が実践する役割の実態一教育担当者への参加観察を通して一，摂南大学看護学研究，14（1），1-10

- (2016)
- 19) Diers, D.: Research in Nursing Practice, J. B. Lippincott Company, 100-123 (1979)
- 20) 前掲書 8) 294.
- 21) 前掲書19) 124-143.
- 22) 前掲書19) 144-161.
- 23) D. F. Polit, C. T. Beck ; 近藤潤子監訳：看護研究 原理と方法 第2版, 313, 医学書院 (2010)
- 24) 前掲書23) 41.
- 25) 前掲書 7) 20-25.
- 26) 田辺幸子他：新卒看護師を指導する実地指導者の困難感, 日本看護科学学会第41回学術集会講演集, 1-21 (2021)
- 27) 川崎美和, 上田香織, 伊藤佳代子：卒後臨床研修制度導入後の実地指導者が抱える困難さとその対処について, 日本集中治療医学会雑誌, 20, 477 (2013)
- 28) 中澤沙織, 富田幸江：新人看護師にかかわる実地指導者のバーンアウトの関連要因, 松蔭大学紀要, 6, 11-21 (2021)

(2022年9月26日受付、2022年12月6日受理)

Trends of research on clinical educators involved in the education of new graduate nurses: Analysis of research published between 2012 and 2020

Misae TATSUSHIMA

【Abstract】

Objective: This study aimed to recognize trends of research on clinical educators involved in the education of new graduate nurses, and to investigate the research needed for the effective involvement of educators in the education of new graduate nurses.

Methods: The previous research analysis approach for nursing education was used. Using the ICHUSHI-Web database to search relevant literature published between 2012 and 2020, 31 articles on clinical educators involved in the education of new graduate nurses were chosen. Based on the analysis form, data was created, “type of research” and “data samples” were calculated as the percentage, and “research content” was categorized using content analysis for nursing education based on Berelson’s methodology.

Results: The “type of research” that made up 71% of the total was qualitative research. Nine categories were emerged using Berelson’s content analysis method. The reliability of these nine categories was proved by Scott’s formula agreement rates, which were over 70%.

Conclusions: The results provided four suggestions for future research.

Keywords: clinical educators involved in educating new graduate nurses and supporting preceptors, new graduate nurses, preceptors

Department of Nursing, Faculty of Nursing, Mejiro University